

無許可での臓器あっせん業に関する調査について

1. 調査実施時期

平成22年1月

2. 調査概要

- ・ 報道の対象となった金沢大学附属病院については、直接聴取することにより調査
- ・ その他各都道府県・指定都市・中核市を通じて、医療機関（大学病院及び移植施設）に対して調査票（別紙）を送付し、調査を実施。

（調査対象期間）

平成21年1月～平成21年12月

（調査対象施設）

大学病院	157施設
移植施設	90施設
合 計	247施設

（回答施設数（回答率））

245施設（99.2%） ※2月12日現在

3. 調査結果概要

- ① 渡航移植を希望する患者に対し紹介先医師又は医療機関が不明のまま診療情報提供書（紹介状）を作成したことについて
 - ・ 金沢大学附属病院の事例は、主治医が、渡航移植を希望する患者の求めに応じ、紹介先が不明のまま診療情報提供書を作成したというもの。
 - ・ その他、調査対象期間内に「ある」との回答は無かった。
 - ・ なお、数年前に、患者本人からの強い要請により検査データを渡したとの情報が1件あった。
- ② 渡航移植支援団体又は個人から特定患者の情報を求められたことについて（併行して患者から依頼された場合も含む。）
 - ・ 金沢大学附属病院の事例は、海外における臓器移植を支援するNPO法人と称する人物から、主治医に対し、患者の情報の求めがあったが断ったというもの。
 - ・ その他、調査対象期間内に「ある」との回答は無かった。
 - ・ なお、数年前に、患者の情報を求められ断ったとの情報が4件あった。（いずれも団体名等は聞いていないとのこと。）